

新スペシャルサポーターとして乃木坂46が就任

知って、肝炎プロジェクトミーティング2018

～The beginning of promoter～ 開催

-肝炎医療コーディネーターを支援する「知って、肝炎プロモーター」制度を発表-

この度、厚生労働省 肝炎総合対策推進国民運動の「知って、肝炎プロジェクト」は、日本肝炎デーに先がけ2018年7月24日（火）に「知って、肝炎プロジェクトミーティング2018～The beginning of promoter～」を開催いたしました。

肝炎は世界で3億人以上が感染していると推計されている、世界最大規模の感染症です。肝炎は放置すると肝硬変・肝がんという重篤な疾患に進行する可能性があります。肝炎総合対策推進国民運動事業「知って、肝炎プロジェクト」は、2013年より、肝炎に関する知識や肝炎ウイルス検査の必要性を分かりやすく伝え、あらゆる国民が肝炎の正しい知識を持ち、早期発見・早期治療に向けて自ら積極的に行動していくことを目的として活動しております。

本イベントでは、加藤勝信厚生労働大臣の挨拶から開会しました。加藤大臣は、「杉特別参与をはじめ、大使・スペシャルサポーターの皆様には、より一層活発に御活動いただき、国民の皆様の肝炎に関する理解が深まることを期待しています。」とプロジェクトに対しての期待を述べました。それを受け、杉良太郎特別参与は「肝炎はとにかく早期発見・早期治療が大事。これまでも様々な都道府県へ表敬訪問しておりますが、各自治体の皆様も、真剣に本課題に取り組んでおられます。それでも、肝炎撲滅ができていないことを考えると、我々がさらに精力的に活動しなければならない。」と挨拶し、固い握手を交わしました。

次に「知って、肝炎プロジェクト」における今年度の新制度「知って、肝炎プロモーター」制度について発表いたしました。本制度は、全国に約10,000人いる、肝炎ウイルス検査後のフォローアップや受診勧奨の支援を進める「肝炎医療コーディネーター」を国民の皆様を知っていただき、肝炎撲滅に向けて普及啓発活動を行うものです。今回「知って、肝炎プロモーター」になった皆様に、オリジナルワッペンを授与を執り行いました。

続いて「知って、肝炎プロジェクト」大使・スペシャルサポーターの委嘱を行いました。肝炎対策特別大使の伍代夏子氏は「この地球上から、肝炎という病気がなくなるまで、啓発活動をしていきたい」と述べ、改めて本プロジェクト参画に対しての意義を感じているようでした。

また、2018年度の新スペシャルサポーターとして「乃木坂46」が就任することが発表され、乃木坂46メンバーの生田絵梨花氏と若月佑美氏が登壇しました。この2名にも、福田祐典厚生労働省健康局長より委嘱状が授与されました。スペシャルサポーターに就任し、生田氏は「私はこれまで、肝炎という言葉は知っていたものの、自分にとって身近な問題とは捉えられていませんでした。今回、乃木坂46がサポーターとして就任することで、より若い世代、また幅広い世代に、検診の必要性を感じてほしいです。」と述べ、スペシャルサポーターへの意欲をみせました。



厚生労働省 ご挨拶／杉特別参与 再任命式

本イベントでは、加藤勝信厚生労働大臣の挨拶から開会しました。加藤大臣は、「杉特別参与をはじめ、大使・スペシャルサポーターの皆様には、より一層活発に御活動いただき、国民の皆様の肝炎に関する理解が深まることを期待しています。」とプロジェクトに対しての期待を述べました。それを受け、杉良太郎特別参与は「肝炎はとにかく早期発見・早期治療が大事。これまでも様々な都道府県へ表敬訪問しておりますが、各自治体の皆様も、真剣に本課題に取り組んでおられます。それでも、肝炎撲滅ができていないことを考えると、我々がさらに精力的に活動しなければならぬ。」と挨拶しました。



「知って、肝炎プロモーター」制度発表

次に「知って、肝炎プロジェクト」における今年度の新制度「知って、肝炎プロモーター」制度について発表いたしました。本制度は、全国に約10,000人いる、肝炎ウイルス検査後のフォローアップや受診勧奨の支援を進める「肝炎医療コーディネーター」を国民の皆様を知っていただき、肝炎撲滅に向けて普及啓発活動を行うものです。今回は、「知って、肝炎プロモーター」になった皆様に、証であるオリジナルワッペンの授与を執り行いました。プロモーターになった、肝炎医療コーディネーターの一人は、「病院内の様々な職種の方が、肝炎に関する活動をしやすいように、潤滑剤のような役割を担い、また、その活動を患者さんや地域住民の皆様にも広く知ってもらえるよう、情報を発信していきたいと思っております。」と意気込みを語りました。



大使・スペシャルサポーター 委嘱

続いて「知って、肝炎プロジェクト」大使・スペシャルサポーターの任命式を執り行いました。ステージ上には、12組16名の「知って、肝炎プロジェクト」特別参与・大使・スペシャルサポーターが登壇しました。代表で挨拶をした肝炎対策特別大使の伍代夏子氏は、「この地球上から、肝炎という病気がなくなるまで、啓発活動をしていきたい」と述べ、改めて本プロジェクト参画に対しての意欲をみせました。続けて、2018年度の新スペシャルサポーターとして「乃木坂46」が就任することが発表されました。メンバーを代表して、生田絵梨花氏と若月佑美氏が登壇し、13組18名の特別参与・大使・スペシャルサポーターが壇上に勢揃いしました。その後、新体制として初めての活動として「知って、肝炎メッセージフラッグ」に、スペシャルサポーターの皆様へ啓発活動を行っていくための宣言を直筆で記入いただきました。乃木坂46の2名には、壇上でフラッグ記入いただきました。「まずは検診へ」とフラッグに書き込んだ想いについて、若月氏は「今回サポーターに就任させていただき、検診の大切さを知りました。肝炎を見つけない限り、その後の治療もできないため、“まずは検診へ”行くことの必要性を広めていきたいです。」と述べました。こうして、乃木坂46の書き込みを以て「知って、肝炎メッセージフラッグ」が完成しました。最後に杉特別参与から、「肝炎は、検査も治療もできる時代になってきています。私達の活動がきっかけで、検診を受けて肝炎であることが発覚した方もいらっしゃると思います。これからもこのプロジェクトを広めていければと思っております。皆様是非今後ともよろしく願っています。」と、締めくくり、イベントは終了いたしました。



「知って、肝炎プロジェクト」とは

このキャンペーンは、2011年5月16日に策定された肝炎対策基本指針を受け、厚生労働省の肝炎対策助成金事業として開始されました。2013年度より、肝炎に関する知識や肝炎ウイルス検査の必要性を分かりやすく伝え、あらゆる国民が肝炎への正しい知識を持ち、早期発見・早期治療に向けて自ら積極的に行動していくこと目的とした「肝炎総合対策推進国民運動事業」として啓発活動を致しております。

肝炎とは何か、そしてどのように感染するのか、放置するとどうなるのか、そして様々な予防方法と治療法を知ってもらうことを目指します。肝炎は放置すると肝硬変・肝がんという重篤な疾患に進行する可能性があります。世界保健機関（WHO）は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を"World Hepatitis Day"（世界肝炎デー）と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱しました。

日本でもこれに呼応した取組として、7月28日を日本肝炎デーと定め、国及び地方公共団体、医療団体や事業主団体等の協力を経て、肝炎の病態や知識、予防、治療に関わる正しい理解が進むよう普及啓発を行うとともに、受検勧奨を推進致します。

また、厚生労働省 肝炎対策国民運動 特別参与 杉良太郎氏をはじめとする、芸能界・スポーツ界から大使・スペシャルサポーターの方々に肝炎ウイルス検査の普及啓発などを目的とした広報活動をお手伝い頂いています。



知って、肝炎?